

ごみ減量及び適正処理に関する事業所アンケートの集計結果について（報告）

1 調査目的

事業ごみの減量及び適正処理を推進していく上での課題や実態の把握を目的とします。

2 調査対象

NTTタウンページに市内事業所として登録のある事業所のうち、公的機関を除いて抽出した、8,717事業所を対象としました。

3 調査方法

任意の記名式による郵送調査とし、選択肢方式と自由記述方式の併用としました。

4 調査実施期間

平成27年11月～12月

5 有効回収件数

3,677事業所（有効回収率42.7%）

6 調査内容

(1) 事業所の概要

（業種，従業員数，住居併設の有無，延べ床面積）

(2) ごみ処理及びリサイクル

（ごみの量・多く排出されるごみの種類，処理方法など）

(3) 事業所のごみ減量及び適正処理

（ごみ減量の取組，ごみ減量等に必要な行政の取組）

7 調査結果（概要）

(1) アンケートから確認できたこと

- ・事業所から多く排出されているごみの種類では、ダンボールや雑誌類など古紙類の他、缶類なども含めいわゆる資源物が多い。
- ・ごみ処理方法やリサイクル業者などに関する情報及びごみや資源物が出しやすい環境整備を望む意見が多い。
- ・傾向として、従業員数が少ない事業所では、事業ごみとしては本来想定されていない家庭ごみルートでの処理が行われている。

(2) 課題

- ・ごみ減量及び適正処理に関する情報提供
- ・ごみや資源物が出しやすい環境整備
- ・小規模事業者対策

詳細は集計結果報告参照